

# Hallo! にちらん

“Hallo!” はオランダ語のよびかけのことばです

● ● ● 2022(令和4年)7.28

## 主催事業のご報告・ご案内

### オランダ事情講演会参加者募集 「オランダ絵画『黄金時代』の源流」

今回の講演会は、城西国際大学の吉城寺尚子先生を講師にお迎えします。「17世紀オランダは、『黄金時代』と称され、絵画史においてもレンブラント、フェルメールの名作が知られています。なぜこの時期のオランダに絵画の傑作が現れたのか、より大きな歴史の枠組みの中で考えます。」(講師談) 近年、国内においても17世紀オランダ絵画の鑑賞を楽しむ機会が増えております。今回は、その歴史的な背景を知り、オランダ絵画への理解を深める良い機会となります。ご家族・ご友人お誘いあわせの上、お気軽にご参加下さい。

講師: 吉城寺 尚子 先生(城西国際大学教授、国際人文学部・国際交流学科)

後援: 佐倉市教育委員会

(公財)佐倉国際交流基金

日時: 8月28日(日) 14:00~16:00

(受付: 13:30~)

会場: 佐倉市立美術館 4階 ホール

参加費: 無料 対象: 会員・一般

定員: 35名(先着順・要申込)

\*会員 8月1日、一般 8月15日より受付

申込み・問合せ: 佐倉市教育委員会教育部

文化課 [Tel:043-484-6191](tel:043-484-6191)

☆新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行います。今後の感染状況によっては、中止・変更となる場合もあります

☆市営駐車場(美術館向かい)は工事のため使えません。なるべく公共交通機関をご利用ください。車でお越しの際は、近隣のコインパーキングか、佐倉城大手門跡広場駐車場(佐倉市民体育館近く。美術館までは徒歩10分程度)をご利用ください

### 佐倉市立志津図書館 Daily Small Labo に再び登場

昨年12月に引き続き、9月7日(水)~10月2日(日)約1ヶ月間、佐倉市立志津図書館 Daily Small Labo を利用して当会の活動を紹介します。今回のテーマは「オランダの絵画」です。先般もドイツ、ドレスデン国立古典絵画館所蔵のフェルメールの作品「窓辺で手紙を読む女」にキューピットが隠されていたのが修復され、日本で公開されました。8月28日(日)オランダ事情講演会でもオランダ美術を取り上げる予定です。芸術の秋をオランダ絵画で楽しんではいかがでしょうか。

### 令和4年度総会を開催

4月23日(土)市役所社会福祉センター3階 中会議室にて、3年ぶりに対面による総会を開催しました。会員数119名に対し、出席者18名、委任状58名で総会は成立。議長である葛西会長により議事進行が行われ、議案通り承認されました。会長からコロナの関係で児童交流の派遣も招聘もできず残念でしたが、オリパラ関係で内閣府より感謝状を受賞したこと、又、今年度は設立35周年に当たり、引き続き事業に取り組んでいくことを話されました。例年行われていた総会後の茶話会は中止となりましたが、今年90歳になられた大沢参与から貴重なお話を伺うことができました。

### 第10回風車まつりを開催

4月9日(土)・10日(日)の2日間、ふるさと広場、風車入り口にて風車まつりを開催し、風車のぬり絵や当会の入会案内を配布いたしました。



2012年当会設立25周年を記念して始まった風車まつりは、佐倉市「佐倉チューリップフェスタ」パンフレットに毎年掲載されるようになりました。2020年はコロナ禍のため残念ながら行うことがで

きませんでした。今年も10回目となります(4月発行の会報で第11回は第10回の誤りです)。今年もテントを張ってのオランダの味の販売や木靴体験はできませんでしたが、風車守さんのご配慮により風車入り口での開催で、多くのチューリップフェスタ来場者に当会を紹介することができました。来年こそオランダの味を会員、来場者と味わえることを願っています。

今年も風車の入り口脇に設定され、風車内部を見学する人たちが私たちにも関心を示してください、パンフレットや風車のぬり絵を配りました。子供たちの「ありがとう」という言葉にうれしく思い、風の強い1日でしたが風車は良く回りチューリップと共に楽しみました。【事務局 田中育子】

## オランダ王国大使公邸を訪問して

4月13日(水)、オランダ王国大使公邸チューリップガーデンにて行われた「チューリップ鑑賞会」に佐倉日蘭協会会員をはじめとする総勢23名が招かれ、楽しいひとときを過ごして参りました。



公邸内小路のチューリップ

チューリップと特大のオランダ木靴

これは昨年の東京オリンピックの際に大使一行が佐倉ふるさと広場を訪問され、来年はぜひ佐倉日蘭協会の皆様を大使公邸に招待したいという大使の温かいお心遣いにより実現されたものです。

当日は大使公邸庭園に植えられた13,000個77種のチューリップが見事に開花し、私たちを迎えてくれました。そして咲きほころ多種の花々に囲まれた中で、軽食を片手にあちらこちらで楽しそうに談笑をする参加者の笑顔に大使公邸は包まれていました。

お天気にも恵まれ、美しい日本の春の喜びを日蘭共に分かち合えたのではないのでしょうか。目の前に大きくそびえる東京タワーの紅白色と大使公邸庭園の樹木や花々がより一層見事な調和を見せてくれていました。日本とオランダの深い絆を改めて感じさせられた一日でした。

【副会長 十川幸博】



公邸庭園にて、大使、葛西会長と女子会員

## オランダ・蘭学ゆかりの地巡り 第19回東京散策会 初参加

私の佐倉日蘭協会への入会きっかけは、40年ほど前オランダに3年在住しており、その後佐倉に住み、令和2年新型コロナウイルスが猛威を振るい始めた頃でした。会員になり、行事に参加できる楽しみが次々と中止になり、初参加がこの散策会でした。新顔の私にも皆さん気持ち良く接してください大満足の1日でした。

私が驚いたことは、会員の方々がとても歴史に詳しいこと、それに引き換え自分の知識が非常に乏しいことでした。一番身近に感じたことは、数年前からお世話になっている順天堂大学佐倉キャンパス ロコモ予防運動教室 その大学の学祖が佐藤泰然 発祥の地が薬研堀不動院 江戸三大不動が他に目黒・目白。目黒不動は子供の頃よくお参りした記憶があります。

大勢の蘭学者の努力、資金等でお玉ヶ池種痘所ができ、西洋医学 東京大学につながることは、感動でした。伝馬町牢屋敷跡(十思公園内)での橋本左内・吉田松陰 終焉の地のお話は若くして世を去った方々に心痛みました。

これからも、協会の行事にぜひ参加したいと思いますので、宜しく願い致します。

【会員 金田治子】

## オランダ・蘭学ゆかりの地巡り～東京散策会(千代田区・中央区)～5月25日

コロナ禍、2年振りでしたが、好天に恵まれ、16名の参加を得、また、幕末、蘭医学にその命をかけた先人達の奮闘の一端に触れることができ、改めて彼らの偉大さを痛感させられた有意義な東京散策会でした。

## 1. 日本橋薬研堀不動院—蘭医学塾「和田塾」 一発祥の地

今は碑文のみが残され、碑文に、順天堂発祥の地、1838(天保9)年、順天堂始祖佐藤泰然、この地に和蘭医学塾を開くとあります。(中央区東日本橋2丁目6番8号、大本山川崎大師東京別院内、昭和57年4月10日、学校法人順天堂 建之。)とあります。

佐藤泰然(当時は和田泰然)は1835(天保6)年から1838(天保9)年までの3年間、長崎に留学、オランダ商館長ニーマンに学び、佐賀藩医、大石良英と檜崎栄建からは西洋医学と蘭書の読み方を学びました。江戸に戻った泰然は、両国橋に近い薬研堀に居を構え、仲間の蘭方医、林洞海、三宅良斉らの助けを得て、和蘭医学塾、「和田塾」を開きました。泰然この時、男35才の働き盛り、杉田玄白の蘭学塾「天真楼」と並び、和田塾も、江戸有数の蘭学医塾としてその名を挙げていきました。

しかし、和田塾開設の一年後、幕府の蘭学者への弾圧事件、「蛮社の獄」が起き、この結果、泰然の友人、渡辺崋山は郷里での塾居を命ぜられ、高野長英は自首し永牢の身となりました。泰然自身も高野長英との関係から、江戸町奉行の要注意人物とされ、同時に泰然には佐倉の堀田正睦の誘いもあり、1843(天保14)年和田塾を女婿の林洞海に任せて佐倉に移住し、蘭医学塾順天堂を開きました。尤も、佐倉への移転理由については諸説あり、この頃、父、藤佐(公事師)が出身地、庄内藩のトラブル(三国国替え反対運動、出羽庄内、越後長岡、武蔵川越の三国)に巻き込まれ、この事が、老中、水野忠邦の怨みを買ひ、江戸に居づらくなったことが原因とされています。佐藤家にとっては濡れ衣の話ですが、兎にも角にも、幕府の筆頭老中の逆鱗に触れる事件となれば事は重大で、佐倉の堀田正睦の誘いは正に渡りに船になったと云われています。実際、江戸末期、佐倉順天堂が果たした役割は、大坂の緒方洪庵の適塾とならび、我が国、蘭学塾として双璧の塾と称せられ、高い評価を得ました。とりわけ佐倉順天堂は、その頃の蘭学のあり様である「医家のための蘭方医学」を脱皮、その分野を広め応用移植技術が加わった点に特色があります。

## 2. お玉が池種痘所跡(東京大学医学部発祥の地)

千代田区岩本町3丁目交差点に大きな石碑があります。車道側には設置者「東京大学医学部」と、歩道側には「お玉ヶ池種痘所記念」と書かれています。千代田区岩本町2-7-11 柳原通りを進み、和泉橋のたもとで右に折れ水天宮

通りに入ります。岩本町3丁目交差点から南一帯は、江戸時代にはお玉ヶ池(都旧跡)とよばれていました。ここには、桜ヶ池(慶長年間に埋め立てられました)という広い池がありました。池のほとりの茶店の娘、お玉がこの池に身を投げたことから、お玉ヶ池とよばれるようになったといえます。池は江戸時代のうちに埋め立てられて姿を消し、現在は水天宮通りから、少し右に入ったところにある「お玉稲荷」に名を残すのみとなっています。

この辺りは、江戸時代後期から幕末にかけ、著名な文人・学者が私塾を開き、学問の中心地の一つになっていました。例えば、佐久間象山の象山書院、市河寛斎の江湖詩社、更には、剣士千葉周作の道場玄武館、また天真流柔術道場なども開かれ、文武の花が咲き誇った場所です。この辺りには勘定奉行川路聖謨の屋敷もあり、彼の屋敷の一面に、「蘭方医学禁止令」が解かれたタイミング、則ち、1857(安政4)年、伊東玄朴ら80余名の蘭方医達が金銭を供出し、日本初の公設種痘所が設けられました。その後、種痘所はその名を「西洋医学所」「医学所」「医学校」更には「大学東校」と変遷、現在の東京大学医学部の前身となりました。



東京散歩会参加者(十思公園)

## 3. 「十思(じっし)公園」(中央区日本橋小伝馬町5-1)江戸日本橋伝馬町牢屋敷跡(「吉田松陰終焉の地」「橋本左内終焉の地」)

地下鉄日比谷線の小伝馬町駅を出てすぐ、中央区立十思公園があります。隣接して十思スクエア(旧区立日本橋小学校、地域住民の交流の場)、公園入口前には、大安楽寺、身延別院の二つ寺が並んでいます。公園名の十思の名は旧日本橋小学校の前身、旧十思小から名付け、更に、十思の名は①中国の史書『資治通鑑』の十思の疏(天子の弁えるべき十ヶ条の戒め)から、および②この地が明治の戸籍法上は「第十四小区」であった事に由来するといいま

す。また、此処は時代劇でおなじみの伝馬町牢屋敷がありました。慶長年間から、明治8年に市ヶ谷囚獄ができ、移転するまでの約270年間に数十万人が投獄され、1万人以上が刑死したと伝えられています。

安政の大獄(1858年)で捕らえられた吉田松陰、橋本左内らもここで刑死しました。公園内には「吉田松陰先生終焉之地」の石碑があり、「身はたとひ武蔵の野辺に朽ちぬとも留め置かまし、大和魂」との辞世の歌が刻まれています。たとえ肉体は滅んでも、変革の志は、この世に遺すという凄まじい決意を表しています。時まさに、明治への改元が九年後にありました。牢屋敷は廃止後、荒廃したままでした。この地は前歴から、市民も不浄地として寄り付かず、明治15年、大成建設の創立者、大倉喜八郎、安田銀行の創立者、安田善次郎の二人が建設費を供出、また兩名をとり、大安楽寺が建立されました。

【事務局 高橋 昭】

## オランダ関連情報

### 「刊行物のご案内」

『アンネ・フランクはひとりじゃなかった』—アムステルダムの小さな広場  
1933 - 1945 (みすず書房 リアン・フェルブーフェン著 水島治郎/佐藤弘幸訳)

『19世紀のオランダ商館(下) 商館長メイランとシッテルスの日記』(東京大学出版会 日蘭交渉史研究会訳)

## 千葉市郷土博物館 企画展「甘藷先生の置き土産—青木昆陽と千葉のさつまいも—」

8月30日(火)~10月16日(日)9時~17時  
入館:無料

千葉市中央区亥鼻 1-6-1 [TEL:043-222-8231](tel:043-222-8231)

\* 昆陽は江戸中期に蘭学隆盛の基を作りました

### 「新大使館の食卓」

6月11日(土)BSフジ「新大使館の食卓」という番組で、オランダ王国大使館が取り上げられました。映像でオランダ王国が簡単に紹介された後、チューリップが咲き誇る公邸をペーター・ファン・デル・フリート大使が案内されました。テラスでトンプースというお菓子とお茶の後、国分寺にあるオランダ料理の店に場所を移し、女性スタッフ2人と共に、スラインケルというビール、海水を使って作られたジン、ハーリング、粒マスタードをつけて食べるゴードチーズの盛り合わせ、ビターバレンという牛肉入りのコロッケ等が登場しました。今オランダが力を入れているという海上の酪農プラントが紹介されて、農業国オランダの発想力にびっくりでした。最後に大使が「日本にある風車を全部見たい。長崎と佐倉の風車はもう見ました」と言われて、佐倉ふるさと広場の風車が映し出されて映像は終わりました。4月半ば、ロイヤルカラーのチューリップが散策路に沿って満開で美しかった公邸に招かれた時のこと、日本の内閣府から贈られたというウクライナ国旗カラーのネクタイを締めた大使と、そのスカーフを腕に巻いてにこやかにお話しされた大使夫人の美しい笑顔等、懐かしく思い出されました。

【監事 堀 睦子】

\* オランダ関係のイベント情報、ニュース等ございましたら、メール・FAX等で下記問い合わせ先までお知らせください。

#### 特別会員(敬称略)

岡村美智子	塚田雅二
中島 洋一郎	宮北英志
(株)小川園	(株)オランダ家
(株)木村屋	(株)クリケット
佐倉厚生園	佐倉ライオンズクラブ
(社)佐倉市観光協会	佐倉社中合同会社
佐倉順天堂医院	佐倉中央ライオンズクラブ
佐倉ロータリークラブ	鈴木金物(株)
DIC 川村記念美術館	日本電気商会
富士測量設計(株)	(株)ホソヤコーポレーション
(株)村山ツーリストビューロー	
セカイセールスコンサルティング合同会社	



## 佐倉日蘭協会

〒285-0037 佐倉市本町 81 佐倉順天堂記念館  
普通会員 1口 2,000円 / 特別会員 1口 5,000円  
\* 新規会員募集中 詳細は下記問い合わせ先へ

事業参加申込・問い合わせ

佐倉市教育委員会教育部 文化課

文化振興班 佐倉日蘭協会担当

〒285-8501 佐倉市海隣寺町 97

TEL . 043-484-6191

FAX . 043-486-9401

e-mail: [bunka@city.sakura.lg.jp](mailto:bunka@city.sakura.lg.jp)

ホームページ 「genki 佐倉日蘭協会」で検索